發行所
加治木町役場
發行人　英坂銀治
編集者　中元邦夫
印刷所　吉原印刷所
向江町　電話114番

空地・休閑地に桑を植えよう!!
養蠶復興と桑園增植運動

目下本町におきましては、蚕糸業復興五ケ年計画に從いその第三年目、目標の達成と歴史的講和條約の記念事業として町を舉げて、桑園增植の一大運動を展開中であります。元より桑の增植は繭の增産を圖るものでありますから繭の增産の点からすれば、既設桑園の能率增進が最も近道であり又極めて重要な事でありますが、經營の合理化と能率の向上を期するには適正面積に增反すると共に空地、休閑地の利用による生産の增强を圖ることが自立經濟と農家の收入基盤確立の上に重要な事項であると信じます。この意味において本年度の增植は從來の如く畑に桑園として植付るばかりでなく、新に屋敷の周圍田畑の畦畔等にその方向を向けるべきであると考えます。殊に將來の養蚕經營に彈力を與え、繭生産費を低減して經營利潤の增加を圖るには桑葉の廉價生産が最も肝要であることを考える時に、この部面に對する桑樹の育成とその普及の必要を痛感致します。

今かりに本町の農家の三、三〇〇戸が一戸殘らず屋敷の周圍なり田畑の畦畔に五〇本宛の桑苗を講和記念として植付け、之を高刈仕立として今後四、五年を經過すれば一本につき二百匁以上の上繭を取ることが出來ますから町全体では十一万七千本の桑樹によつて年間二万三千四百貫の產繭で三千五百十万円の收入を舉げることが出來る理であります。

現に伊佐郡本城村荒田の小松信高さんは畔桑として十六本の高刈仕立の桑樹だけで養蚕をし、春一貫八百匁、初秋一貫六百匁(晩秋は都合により休止した)合計三貫四百匁の繭(一株當二一二匁)を取つておられる實例がありますから講話記念として屋敷の周圍なり田畑の畦畔に一本でも多く桑の植付けをお奬め致します

◉本年の繭價格は貫當り春繭一千五百円　初秋繭一千二百五十円　晩秋繭一千六百円(町平均)の高價に取引されました。現在桑苗は一本五円五十錢見當ですが半額は町の補助があります、桑苗は町農協で斡旋して居ります

◉町養蠶復興目標

桑園反別　十町歩
産繭額　二千貫

(農務課)

議會の窓

九月臨時町議會

臨時第七回町議會は、會期を九月十五日より二十九日までとし、鄕土館日本間及び新議事堂において、開會され左記の通り議案十一件の中、十件を原案可決、一件を修正可決、陳情三件の中、二件を採擇、一件を不採擇とし、九月二十九日午后六時十五分閉會せり。

◉議案第六十四号　職員の分限に關する手續及び効果に關する條例制定の件並びに議案第六十五号職員の懲戒の手續及び効果に關する條例制定の件の二件は、地方公務員法の施行に伴い同法第二十八條及び第二十九條の規定に基き職員の懲戒の手續並びに、効果について町條例を制定せんとするもので何れも原案通り可決す。

◉議案第六十六號　加治木町職員の異動及び在職年數通算條例制定の件は町長事務部局職員と選擧管理委員會、監査委員、公平委員會、農業委員會圖書館、学校、母子寮等各事務部局職員との入轉交流及在職年數の通算を圖る條例を制定せんとするもので在職年數通算について、各事務局とも、就職の日に遡及し、尚且舊農地委員會及び、農業委員會職員の在職年數も通算することに一部修正可決す。

◉議案第六十七號　加治木町庶民住宅使用條例改正の件は、使用料滯納者に對し、國税徴收法の滯納處分に關する取扱いを準用する條項を加えんとするもので、原案の通り可決す。

◉議案第六十八号　加治木町報酬及び費用辨償支給條例改正の件は、農地及び農業調整両委員會の項を削り新たに發足した農業委員會(委員長年七千円、同委員年六千円)及び公平委員會(委員長年三千五百円、同委員三千円)を加え且、議員及び各種委員が一般公務の爲出席した場合にも日當を支給することに改正せんとするもので原案通り可決す。

◉議案第六十九條　固定資産評價審査委員會委員選任の件は地方税法第四百二十三條の規定に基き固定資産課税台帳に登録された事項に關する不服を審査決定する審査委員會の委員として、立山常次氏、橋本裕人氏、湯川俊憲氏の三人を選任する事に同意を求めんとするもので、原案の通り可決す。

◉議案第七十号　土地買收に關する件は、加治木檢察廳新築敷地として貸與することに決定した招魂墓敷地二七八坪四六を買收せんとするもので原案通り買收することに可決す。

◉議案第七十一號　加治木町圖書館設置條例制定の件は、新圖書館法の公布施行に基き、これが設置條例を制定し、大正六年制定した舊規則を廢止せんとするもので、原案の通り可決す

◉議案第七十二號　加治木町公益質屋運轉資金起債に關する件は、曩に小口金融の方法として、公益質屋を設置することに議決され、資金の面で實現するに至らなかつたが今般政府預金部資金より四十万円を融資する許可を得たのでこれを起債せんとするもので原案通り可決す。

◉議案第七十三號　第五回、昭和二十六年度町歳入、歳出追加更正豫算の件は、公益質屋運轉資金の四十万円、警察消防關係二十二万八千百一円、各欵消耗品その他一般需用費及び各種負擔金三十万一千八百十一円等の夫々追加と、農地及び農業調整委員會の廢止並びに農業委員會發足に伴う經費の組替更正減四万四千四百九十七円を差引き、合計九十七万四千四百十五円を、追加せんとするもので原案通り可決す、これを以つて本年度予算累計額は、四千七百二十四万三千百五十六円となる。

◉議案第七十四號　第六回、昭和二十六年度町歳入歳出追加予算の件は、新役場廳舎落成式典費及び税務協議會負擔金、計十三万六千円を追加せんとするもので原案通り可決す。

これを以つて本年度予算累計額は四千七百三十七万九千百五十六円となる。

◉講和記念鈴蘭燈設置に關する陳情は、驛前より端山、蒲生田通りを經て向江町及び今町迄の、鈴蘭燈設置費を助成されたいとの加治木商工會よりの要望で特別委員會の報告に基づき、愼重審議の結果、補助額を所要經費の三分の二とすることで採擇さる。

◉モーターボート競走會設立準備補助に關する、陳情は、町發展策の一助として、同競走會本部を設立したいから、これが設立準備費を補助ありたいとの陳情で特別委員會に付託同委員會審査の報告に基づき、愼重審議の結果、三万円を補助することで採擇さる。

◉授産場橋災害復舊工事寄附採納に關する陳情は本工事請負條件の一つである。二十五万円の寄附採納は材料の値上りその他で困難であるから、免除されたいとの要望により、總務及び建設合同委員會で審査の結果承認し難きものとして、不採擇となる、但し請負者が資材昇騰その他、悪條件を克服、工事を完成した努力に對しては、別途謝意を表することに決す。

―お斷り―

今回は二面發行のため紙面が制限されましたので議會レポートは九月議會だけにしました。十月以降の分は次号に掲載致しますから御斷り致します。

年末年始行事改善運動
―婦人の聲―
男性の深い理解と協力がほしい

この程行はれた始良郡社會教育振興會では、年末年始の生活改善の問題を強く取り上げ「私達は毎年自分達の生活を反省し改めるべきものは改めて、自分の幸福を計ると共に、住みよい明るい町や村を作つて行かうではありませんか」と郡内各町村線を揃えて運動を展開する事になつた、これに先んじて、郡婦人會をはじめ加治木町の婦人會に於いてもこの問題を眞劍にとり上げ徹底した改善運動を行ふ事になつたが、これを阻むもの特に男性の深い理解と協力がほしいとの全會員の聲だつたが、先づ頭の切換えが第一要件ではなからうか

申し合せ事項

①年末年始の虚禮的なおくりものはやめましよう

②新年には各戸に國旗をかゝげましよう

③年始のあいさつ廻りは玄關までとしましよう

④年始會又は、名刺交換會に出席し、はしご酒飲みはつゝしみましよう

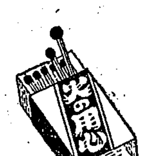
お互さかづきのやりとりをつゝしみましよう

⑥正月料理は簡素にし三品位にとゞめましよう

⑦七草祝について

イ子供本位のお祝にし出來るだけ簡素にしましよう

ロ服装は質素にし、新調するなら学童服にしましよう。



町民の皆さん今回のルース台風つまり天災的災害は人爲を以つて防止する事は出來ませんが、火災は各人の注意如何んによつて絶滅する事が出來ます。乾燥期に入りましたのでお互火には用心しましよう。

役場に御忘れ物

次の印鑑が役場戸籍課に大切に保管してありますから御氣付の方は申出下さい。

印鑑　西田　黄楊
〃　西田　黒水牛
右は布製小袋入
印鑑　白尾　水晶(革製ケース入)

納税の用意に
最善の方法

待望の講和條約は、調印されましたが、經濟自立のためには、國民の忍苦の生活が予想され、滅税は望薄の狀態です。そこで税金を納めやすくし滯納を防止し、從來の自主的な納税貯蓄團体を法律で守り、助けるために第十回國會で誕生したのが、納税貯蓄組合法です。

ふだんの貯蓄で明るい納税

この納税貯蓄組合法とは、どんなものでせうか第一に、皆さんの勸め先の集りとか、一定の地域とかによつて組合を作ることです。

これは、自分でするよりも、組合によつて貯蓄する方が、たやすいからです。

第二に、毎日の收入の一部を日掛、週掛、月掛など天引して、貯金します。この点は、從來の個人の納税準備予金と同じです。

第三に、組合には、誰でも自由に、加入したり脱退したり、出來ますしこの貯金からは、納税以外の引出しも出來ます。

第四に、組合にはいろいろの特典があつて納税に充てられるものについては、利子が高いこと國や縣、市町村から予算の範圍内で補助金が貰えることなどの恩典があります。

「備えあればうれいなし」一日一日を樂しみ乍ら貯金をして、手輕に税金を納められるようになる。

一刻も早くつくつて、明るい生活を打ち立てましよう。

組合を作る場合は、町役場に御相談下さい。

鹿兒島縣町村監査委員協議會

町村財政の適正かつ合理的なる運營を圖るにはどうしても町村監査委員制度の強化とその円滑なる運營を期することが先決問題であるとの觀点から、去る十月二十日鹿兒島市自治會館講堂で鹿兒島縣町村監査委員協議會が結成されたが、初代會長及び副會長には次の諸氏が就任した。

會長　宮下虎雄　加治木
副會長　丸山純義　伊集院
仝　宮原榮彦　大口

警察から
町民の皆さんえ

近頃町のあちら、こちらで新聞代を半ケ年分も前納したのに一回も新聞は送つて來ない、とか廣告取りに來られたので廣告料何百円出したのに載せて貰えたのか、どうか知らないがその新聞は送つて來ないと言うような話しを聞きます。

そして、その新聞の名前を聞きますと、〇〇警察〇〇新聞と言うのであつて、何時も二人か三人連れであるようです。との事であります。

名前が〇〇警察新聞と付いていて、警察と關係のある人々の名が二、三出ていると、何か警察と關係があり、警察の機關紙ではあるまいかと、言うような誤解を招いているような感じが致しますので、老婆心ながら誤解を解いて戴くために御知らせ致します。

最近新聞の表題に、警察を表示したのが、中央地方を通じて二、三にとどまりませんが、斯種新聞は全然警察とは關係のないものであります。

現在の處警察が自ら新聞を出し、又警察の後援の下に出されている機關紙と言うようなものは一つもありません。

私共警察關係者と致しましても前記のような新聞が巷にはん濫致して居りますために、大なり小なり迷惑をこうむり不愉快な思ひを致して居る次第でありまして、當署としては勿論、署員の中にも講讀している者は一名もありませんから左樣御承知下さい。

尚新聞代を前納しながら未だ一回も新聞を受取らなかつたり、廣告料を出しながら廣告して貰えたのか、否か判らない方や、何か不審のある方々は御遠慮なく申出て下さい。

世の中がせち辛くなればなる程、新聞を利用する廣告詐欺や、前金申込による横領事件が、激増してまいりますから一かく千金を夢見るような廣告にひつかからぬよう御用心下さい。

「ぬれ手に粟つかみ、」のような金儲の話しは大怪我の基」であります。年末年始特に御注意下さい

(西始良地區署)

飛躍した
加治木の煙草

皆さん今年はルース台風で泣くにも泣けない狀態であつたと思ひます。然し「煙草は今年は良かつた」と煙草耕作者の皆さんはホクホクです。加治木町の煙草收納所では收納中のところ現在(十一月末日)迄の賠償金を受け取られた中で最高は廿六万五千七百令円であり、反當り賠償金は、おそらく縣一否、全國で一番ではないかと言はれて居ます。勿論之だけの收益を上げるにはそれ相當の努力が必要でありそれだけ煙草耕作者の方が肥培管理その他に格段の努力を傾注された賜であります。次に現在迄の最高者を三人紹介致して益々努力下さいます樣お願ひ致します。

①、二六五、七八〇円　木田楠園　下楠園彪
②、二二一、八一〇円　小山田德永　南原鉄夫
③　二一〇、五五五円　小山田德永　德永豐吉

町民の皆さん

ルース台風災害後毎日御苦勞樣です。今年も余すところ後僅かとなりました。お互い悔いなき新年を迎えましよう。

町役場職員一同

災害にくつせず協力して復舊に最善の努力を致しませう

供米割當一九一〇石
二十日現在で八十六%

本年度の米供出割當は最初から難關に難關を重ね全國知事會議に出席する處の全國農業委員會代表も、割當會議には出席しないという様な事態も起りましたが結局政府が災害を充分考慮すると言う約束の元に決定された事は既に新聞紙上で御承知の通りであります。

さて、本郡の本年産米供出割當は二二、〇二〇石であり、地方事務所に於ては、十一月二十八日郡町村長會を開き、別表の通りの供出割當を指示したのであります。

元來、鹿兒島縣は自給自足の狀態でありましたが本縣に有名なシラス、ボラ地層を基にせる例年の被害により消費縣に指定されたので、何と言つても他縣より相當量供給を仰がねばならないのであります。殊に本年度の災害に依り、昭和二十七年度の食糧需給を換算すると、約五〇萬石の移入が予想されて居ります。從つて當町も例年に數倍する配給枠を必要としますので、縣内の農家一面町内の農家が自主的な立場から割當られた量だけは供出を済ませなければ最後に他縣にお願する事はむづかしいのであります。

本年はルース颱風により割當量もいくらか無理かとは思はれますが、加治木町は二十日現在で八十六%の實績になつて居ります、どうか農家の皆様の自主的な立場から供出期限の一月末日迄は割當量を完遂する事が出來ます様格段の御協力を御願ひ申し上げます。

昭和二十六年度米、供出割當量
（括弧内は20日現實績）

帖佐	一、五八三石	（八九・七%）
重富	九三〇石	（九一・九%）
加治木	一、九一〇石	（八六%）
吉松	一、七五九石	（八一・七%）
蒲生	二、六四五石	（七〇・四%）
霧島	九八四石	（八四・二%）
山田	一、四八六石	（七五%）
敷根	五〇四石	（八八・四%）
福山	五五九石	（七五・一%）
日當山	五〇三石	（六四・六%）
栗野	二、一九九石	（四八・一%）
東襲山	二、一九石	（五〇・八%）
國分	九六二石	（四三・二%）
横川	八六四石	（五八・八%）
東國分	八七三石	（七六・〇%）
清水	八二七石	（四九・五%）
牧園	一、一九四石	（二四・二%）
溝邊	五〇六石	（一七・八%）
隼人	一、五六六石	（一九・五%）
合計	二二、〇二〇石	（五六・五%）

（農務課）

農家の皆さん茶を植へませう

毎日御苦勞様です。ルース颱風には色々御心配された事とお察し致します、さて現在の農家經濟を今迄より一層豊かにする爲には、何と言つても換金作物の栽培が必要であり、特に其の換金作物の中でも最も安全であり、又本縣の氣候風土に適したものに茶があります。殊に本縣の茶は靜岡三重に次ぎ全國で三番目の栽培面積及生産量を有して居り、又本郡の茶は本縣の代表であるとされていますが、ルース颱風に依り本町の茶園、畦畔茶園も正に枯死直前の狀態にあるやに見受けられます。然し雄々しく起き上る農村は何時迄も災害にくよ〳〵していてはいけません。一日も早く復舊の途を講じられるようお願ひ致します。

本町に於いては本年より向う三ケ年間に亘る加治木町茶業振興三ケ年計画を樹立し初年度の二十六年度に、本茶園三町四反、畦畔茶園七町九反　計一一町三反、二年目の二十七年度には本茶園四町八反、畦畔茶園一六町一反計二〇町九反、最終年度の二十八年度には本茶園六町六反、畦畔茶園二四町二反計三〇町八反を消化するよう努力致して居ります。前にも申し上げたように、茶は最も安全であり凶年でも災害を蒙る事が少く防風茶園としてもその效果を充分發揮出來るものであります。加治木町の田と言う田、畑と言ふ畑の畦畔が全部青々とした茶で埋められ之より生産する製茶が町外縣外は勿論どん〳〵外國まで輸出されて、農家經濟が益々豊かになるよう、特に御協力下さい。（農務課）

本縣に於ける農機具の實情と加治木町
農業經營に關す一考察

（其の一）

鹿兒島縣は、縣民の約七〇%が農家人口で占める農業縣乍ら農機具の手持量は、全國で一番少く、品質も他府縣に比べて少くとも十五年以上おくれた機具を用いている實狀である。

しからば本縣の農機具がどういう原因で改善が立ちおくれたか他府縣にくらべて、どこに欠点があるか、今後どうすればよいか等本縣農機具の一部について述べて見たい

全般的に本縣の農機具が著しく他縣に比較して立ちおくれている原因は先づ

一、本縣は東北地方の如く時期的に農業に制限されず余りにも氣候にめぐまれ過ぎ一年を通し、容易に農耕に從事出來得る爲あえて改善された、農機具を用いないでも何とかやつて行ける事

二、本縣の農家一戸當り耕作反別が全國平均八反に比較し、五反七畝の僅少であるため、大半の農家がじり貧にあへいでいる事から、改良農機具の購入がたやすく出來ない事

三、本縣は、工業地帯に遠い爲農家人口が過剰勞力になやんで居る事から畜力や動力農機具に依存して能率を上げなくともという考へ方が農家全般にひそんでいる事

四、縣内に農機具工業にみるべきものがなく先進地にも遠い爲農器具改善への感度がいたつてにぶい上、當事者が過去においても農機具普及宣傳に無關心であつた事

五、優秀農機具を使う事に依つて能率の増進と農作物の増收に役立つ事を知り乍ら、「ヨソモノをオミツト」しようとする封建的習慣が、いまだ農村に流れている事でこれら悪條件が重なり、單に喰つてゆけばよいという結果を招いている事。

次に先づ本縣の小農具の代表的な「鎌」について見ると鎌は一應全國共通なものでさほど質には衰つていないが、現在衰微の一途を辿り現在數件の鍛冶屋で製作されているが、至つて不振の實情にある、然も全縣内の消費量の八割迄は、所謂播州鎌に依存している實狀で又一時縣内外をふうびし、名聲をはくした加治木鎌は本縣農家一戸當り三丁に比較全國平均は四、五丁で本縣は全國の最下位である。

「犁」は在來の地オコシに比較改良犁は全体の約二割程度しか普及されず、昔から地オコシがもつぱら使はれている實狀であるが最近急速に改良犁に移向じつゝあることは喜ばしい現狀である。

尙他府縣では既に二段耕犁が改良犁の如く廣く使用され試作後過去二十年を經過しているにも拘らず縣内僅か四〇台位普及されている程度でまことになげかはしい次第である。

碎土機にしても、同樣で本縣に使用されているは「馬鍬」で改良形は無くて農耕用牛馬では無理といつて普及されず回轉馬鍬、飛行馬鍬等能率の上るものは、けいえんされている狀況である。「カルチベーター」等殆んど普及されずこれも一、二日使つただけで放つたらかしといふ有樣で專ら鍬による肉体勞働が續けられている。

「人力脱穀機」についてみると全く話しにならない貧弱さである。全國平均六戸に一台というのに本縣は三〇戸に一台で全國の最下位である。

最近我が加治木町に於て二分の一馬力の單想モートルに依る動力脱穀機が二〇台と精米機が十五台近く精農家により購入せられ農家の關心を得ている事は誠に喜ばしい現狀であると思ふ。

以上のべた如く本縣に於ける凡ゆる改良農機具の普及率は最下位にあまんじている有樣であり反面農機具の一種として今日迄加治木町で製作されず殆んど町外に依存して居る事は町民の恥辱でもあると思ふ、では今後どうすれば農機具が廣く普及され農業改善に役立つか、以下加治木町についてのべて見たい（續く）

加治木町農協　城國廣

ルース颱風に拾ふ＝三題

過ぐる十月十四日、時ならぬルースの襲來は一瞬にして、縣下各地に甚大なる被害を與え、文化施設を破壞し、人家は流失し、尊い人命まで奪い死者一二〇余名を出したわが加治木町にも時を同じうして自然の高潮にルースは予想以上の被害を與え特に沿岸一帯は生々しい慘狀であつた、然しこの災禍の中から罹災者の復舊意慾は悲しみを乘り越え、後音もたくましく復舊に最善の努力が拂はれている。

この颱風の中に、きびしい世情とはいえ少年の友愛に燃える美擧と、町外から同胞愛に滿ちた見舞品が贈られ罹災者に大きな感動を與えた。去る事乍ら一頁をかる事も決して無駄ではなからう。

氣の毒なお友達に
純情あふれる中野學童の贈物

日木山中野小学校では親しき同胞が高潮に家を奪はれ着のみ着のまゝで明日の食糧さえも困つている有樣をじつと見て居れぬといふところから、早速臨時總會を開き「この可愛想なお友達に何とか再起の希望をもたせ、もとの樣に元氣で何の心配もなく毎日学校に通つて勉强出來る樣にして上げたいものだ」と申し合せたが、かねて理科學習用實習地として、耕作經營していた農園の甘藷のある事に氣付き、之れを早速收穫して、町内の可愛想なお友達え贈らうと喜んで決め、「實際差上げるだけの量も御座居ませんが食べて下さい」と子供仲良し會から枕城校に十五貫錦江校に二五貫送り届けられた、学童達は「口に合はぬ物ではありますが喜んで食べて戴いたら私達の最初の目的であつた運動具購入の、この甘藷も遥かに作り甲斐があつたと思います」といつていた。

霧島村から御見舞

霧島村では被害甚大地域え御見舞を送らうと全村擧げ、靑年團、婦人會が中心になり甘藷を集めて居たところ、この程「困つた方々に食べさして下さい」と村長名で送り届けられた、早速町では生活困窮の方に配給したが受配した一六〇名は「ほんとうに有難う御座居ます」と目に感激の涙を浮べていた。

「西別府」「小山田」からも

ルース颱風で一時は綠の畑から山に至る迄茶褐色に變し野菜に困つた。そこで早速（永原、桃木野、隈原下）の三部落から愛に滿ちた野菜相當量が届けられ又、小山田西浦部落石原操、柚木茂さん初め六十三名の方達の心からの甘藷が届けられ、當時野菜一本、甘藷一つから、探し出せなかつただけに罹災者の方に感涙された。

（御心盡し有難う御座居ました）

門松には枝松を使いませう

若松を使ふと全國で一〇、〇〇〇町歩の造地が消える計算になります。アメリカでさえ、クリスマスの飾木はモミ枝を使つています。門松は枝を切つて若松は子孫え殘しましよう。

役場の電話番號

收入役室
農業委員會事務局
農業改良普及事務所
税務課
建設課
農務課
商工課
戸籍課
民生課
―3番え（一階）

町長室
助役室
議長副議長室
選擧管理委事務局
總務課
教育課
町議會事務局
町議會議事堂
―102番え（二階）

加治木圖書館（舊役場）　153番え

計量强調月間
期間31日まで

◎正しいはかりを使いませう。
※「はかり」は店の心「マド」正しい「はかり」で正確に計りませう。
※「はかり」はお客の見易い便利な場所に置きましよう。
※「はかり」は毎日手入しましよう。
※品物をはかる時皿の中央に静かに乘せましよう。
※風袋には風袋の重さを表記しましよう。
◎量目に注意致しましよう。
※釣錢をかぞえる前に先づ、量目を確めましよう。
※品物を求めたら必ずはかり試しをいたしましよう。
※折角安く求めたものも量目が不足していたらたかくつきます。
◎各家庭に計量器を備えましよう。
※計量生活で浮いた時間は、「教養」と「レクリエーション」に振りむけましよう。

昭和二十六年度工業調査

來る十二月末日現在で昭和二十六年度工業調査を實施致しますので左記事業所は御協力願ひます

記

一、調査對象　日本産業分類上の製造業を主業とする事業所。
一、調査期間　十二月末日現在で翌年一月中
一、調査方法　従業者三人以下面接調査　従業者四人以上基本調査

△未曾有のルースは復興途上の加治木町を一瞬にして不安と焦燥の中にたゝきつけた、然し悲観すべきでない、明るい希望を求めてお互いが勇氣づけ、意識づけ合つて前途の多難を克服して行く事が私共に與えられた課題ではなかろうか。

△本年最後の町政だよりを御送りする事になつて平素の御愛顧を謝して（中元）